

【注意書き】

安全対策 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 火災の場合、消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管 換気の良い場所で保管すること。

廃棄 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

GHS 分類に該当しない なし

他の危険有害性

【重要な徴候及び想定される非常事態の概要】

重要な徴候 データなし

非常事態の概要 データなし

3. 組成、成分情報

化学特性 シリコン混和物
混合物

成分名	CAS 番号	濃度(%)*
酸化チタン	13463-67-7	1.0-10
有機チタン化合物	非開示	1.0-10
マンガン及びその無機化合物	68186-94-7	0.1-1.0

*ガス以外の成分は重量パーセントで示す。ガスの濃度は容量パーセントで示す。

企業秘密情報 特定の化学的同一性及び／又は成分のパーセンテージは企業秘密として秘匿されている。

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動する。大量に曝露した場合は、医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 眼に入った場合、直ちに多量の水で洗い流し医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合 接触した部分を石鹸と水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと。水を少量飲ませる。医療措置を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 データなし

危険 データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 散水

使ってはならない消火剤 消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性 火災の場合、一酸化炭素や二酸化炭素が生成する。燃焼生成物へ急性暴露した場合、気道への刺激を生じる可能性がある。空気中において 150℃以上加熱すると、酸化分解が進み、少量のホルムアルデヒドが発生する。

特有の消火方法 火災の残留物や汚染した消火用水は、関係法規に従って処理する。通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

消火を行う者の保護 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 本製品は使用中および硬化中にメタノールを放出する。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。換気のよい場所でのみ取り扱う。蒸気およびスプレーミストの吸入を避ける。容器は閉じたままにする。子供の手の届かないところに置くこと。

環境に対する注意事項 データなし

封じ込め及び浄化の方法及び機材 着火源を除去する。化学品用吸着剤で吸い取るか、乾燥砂を使用すること。

二次災害の防止策 データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策（局所排気、全体換気等）	この製品は、洗眼設備および緊急用シャワーがあるところで扱わなければならない。
安全取扱注意事項	眼、皮膚、衣服への接触を避ける。蒸気の吸入を避ける。保護具については SDS 第 8 項を参照。換気のよい場所でのみ取り扱う。
接触回避	データなし
衛生対策	データなし

【保管】

安全な保管条件	密閉し、屋内冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	データなし

8. 暴露防止及び保護措置

【許容濃度等】

暴露限界値

化学名	タイプ	暴露限界値	規制法規等
酸化チタン－吸入性粉じん	TWA	1mg/m ³	日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告、改正(05 2014)
酸化チタン－総粉じん	TWA	4mg/m ³	日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告、改正(05 2014)
酸化チタン	TWA	0.3mg/m ³	日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告、改正(05 2014)
マンガン及びその無機化合物－マンガンとして	TLV	0.2mg/m ³	安衛法：作業環境衛評価基準。改定された場合はその改定版(10 2013)

【保護具(PPE)】

呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	耐化学性手袋
眼、顔面の保護具	側面シールド安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	耐化学性衣服、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

外環

物理状態	液体
形状	ペースト
色	灰色
臭い	アルコール
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	データなし
引火点	70℃
蒸発速度	データなし
可燃性（固体、気体）	データなし
燃焼又は爆発限界の上限/下限	
可燃限界－上限(%)	データなし
可燃限界－下限(%)	データなし
爆発限界－上限	データなし
爆発限界－下限	データなし
蒸気圧	データなし
密度	1.5g/cm ³ (23℃)
相対ガス密度	データなし
比重	1.5
溶解度	
溶解度(水)	不溶性
溶解度（その他）	データなし
n-オクタノール／	データなし
水分分配係数 log Pow	
自然発火点	データなし

分解温度	データなし
SADT	データなし
粘度	10,000mPa·s(23℃)
動粘度	データなし

10. 安定性および反応性

反応性	指示したとおりに使用すれば、危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	熱源から離して保管する。着火源から離して保管する－禁煙。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物、ケイ素酸化物。空気中において 150℃以上加熱すると、酸化分解が進み、少量のホルムアルデヒドが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 (可能性のある全ての暴露経路をリストアップする)	試験結果
経口	
製品	利用可能なデータに基づき、急性毒性に対する分類はできない。
成分：	
酸化チタン	LD50(うさぎ)：>10,000mg/kg
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし
経皮	
製品	利用可能なデータに基づき、急性毒性に対する分類はできない。
成分：	
酸化チタン	LD50(ウサギ)：>10,000mg/kg
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし
吸入	
製品	利用可能なデータに基づき、急性毒性に対する分類はできない。
反復投与毒性	試験結果
製品	データなし
皮膚腐食性／刺激性	試験結果
製品	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	試験結果
製品	眼の刺激なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	試験結果
製品	データなし
発がん性	試験結果
製品	データなし
日本産業衛生学会－発がん性物質	発がん性成分は確認されていない。
労働安全衛生法－がん原性に係る指针对象物質	発がん性成分は確認されていない。
ヒトに対する発がんリスク評価に関する IARC モノグラフ	発がん性成分は確認されていない。
生殖細胞変異原性	試験結果
インビトロ(in vitro)	
製品	データなし

成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし

インビボ(in vivo)	
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし

生殖毒性	試験結果
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	試験結果
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	試験結果
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし

誤えん有害性	試験結果
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし

その他の影響 データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	試験結果
水生環境有害性 短期（急性）	
魚類	
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	LC0(ウグイ, 48h) : >1,000mg/l
水生無脊椎動物	
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし

マンガン及びその無機化合物	データなし
生態毒性	試験結果
水生環境有害性 長期（慢性）	
魚類	
製品	データなし
水生無脊椎動物	
製品	データなし
水生植物毒性	
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし
残留性・分解性	試験結果
生物分解	
製品	データなし
成分：	
酸化チタン	0%
BOD/COD 比	
製品	データなし
生態蓄積性	試験結果
生物濃縮因子（BCF）	
製品	データなし
n-オクタノール/水分配係数（log Kow）	
製品	データなし
土壤中の移動性	試験結果
土壤中の移動性	データなし
環境区分に対する公知または予想される分布	
成分：	
酸化チタン	データなし
有機チタン化合物	データなし
マンガン及びその無機化合物	データなし
オゾン層への有害性	データなし
その他の情報	データなし

13. 廃棄上の注意

一般情報	廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。下水、水路、地面に排出をしない。適切な個人保護具に関する情報についてはセクション 8 を参照。
残余廃棄物	本製品を廃棄する場合は廃棄物処理法に基づいて産業廃棄物と分類される。本法および地域の条例に基づいて廃棄すること。
汚染容器及び包装	未使用製品として処分する。

14. 輸送上の注意

国際規則	
IMDG – 国際海上危険物規則	該当せず。
IATA	該当せず。
国内規制	国内法に従う。
使用者のための特別な予防措置	本製品は米国運輸省 (DOT) による定義では可燃性とされている。米国内で 119 ガロンを超える容器で輸送する場合には規制を受ける。IATA、ADR/RID、ADNR あるいは IMDG 規則では本製品の輸送は規制を受けない。

15. 適用法令

化審法	
優先評価化学物質	規制されない
監視化学物質	規制されない
化学物質排出把握管理促進法（化管法）、新規指定化学物質（平成 20 年政令第 356 号）	
特定第一種指定化学物質	該当しない
第一種指定化学物質	該当しない
第二種指定化学物質	該当しない
労働安全衛生法	
通知対象物質(第 57 条の 2)	酸化チタン (IV)、無機マンガン化合物
表示対象物質(第 57 条)	酸化チタン (IV)
有機則	該当しない
特化則	該当しない
毒物及び劇物取締法	
特定毒物	
法	該当しない
政令	該当しない
毒物	
法	該当しない
政令	該当しない
劇物	
法	該当しない
政令	該当しない
高压ガス保安法	該当しない
消防法	第 4 類引火性液体、第三石油類非水溶性液体 危険等級 III 火気厳禁
監視化学物質	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

インベントリー収載状況

オーストラリア工業化学品(届出 審査)法 (AICS)	インベントリーに収載されている、あるいは準拠している。	注意：なし
EU INV	インベントリーに収載されている、あるいは準拠している。	注意：なし
日本化審法(ENCS)	インベントリーに収載されている、あるいは準拠している。	注意：なし
中国新規化学物質環境管理弁法(IECSC)	インベントリーに収載されている、あるいは準拠している。	注意：なし
韓国有害物質管理法既存物質リスト(KECI)	インベントリーに収載されている、あるいは準拠している。	注意：なし
カナダ環境保護法国内物質リスト(DSL)	インベントリーに準拠していない。	注意：なし
カナダ環境保護法非国内物質リスト(NDSL)	インベントリーに準拠していない。	注意：なし
フィリピン化学物質管理法(PICCS)	インベントリーに収載されている、あるいは準拠している。	注意：なし
米国有害物質規制法(TSCA)	インベントリーに収載されている、あるいは準拠している。	注意：なし
ニュージーランド有害物質及び新生物法 (NZIOC)	インベントリーに準拠していない。	注意：なし
台湾既存化学物質リスト	インベントリーに収載されている、あるいは準拠している。	注意：なし

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先

会社名	株式会社クラタ・テクノシステム
住所	東京都練馬区高松 4-21-17
担当部門	営業部
電話番号	03-3926-4010
FAX 番号	03-6763-9411
SDS No.	020

免責条項

注意事項

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される

詳しい情報

場合には、貴社においてその安全性を事前にご確認のうえご使用ください。尚、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

引用文献

データなし